



Photo by Sho YAMADA

齋藤 了 Satoru Saito

島根県出身。13歳よりサクソフォンを始める。1980年陸上自衛隊音楽隊に入隊し、広島、東京、静岡等でサクソフォン奏者として活躍。1992年東京藝術大学音楽学部器楽科別科修了。1994年第6回宝塚ベガ音楽コンクール室内楽部門第3位受賞(1位なし)。1996年ソロリサイタル開催。2000年第12回ワールド・サクソフォン・コンGRESS(カナダ大会)に参加。2013年より指揮者として陸上自衛隊富士学校音楽隊長(静岡)、第9音楽隊長(青森)を歴任。2021年より中央音楽隊音楽教官として、陸上自衛隊音楽隊員の育成・指導に勤める。2022年3月退官し、翌4月よりサクソフォン奏者に復帰する。ソロ、室内楽、吹奏楽の他、ポップスやジャズ等演奏活動は幅広い。これまでに、サクソフォンを紙田俊介、故大室勇一鈴木英之、須川展也、雲井雅人の各氏に師事。室内楽を富岡和男、指揮法を加納明洋、米津俊広の各氏に師事。日本吹奏楽指導者協会会員。日本サクソフォン協会会員。GMAサクソフォン・アンサンブルバリトン奏者。バンド「Breques」(ブレッキ)メンバー。フォーリーナ学園通り音楽教室サクソフォン講師。
<https://www.foglina-ongaku.com/>

国立音楽大学卒業。1994年トゥール国際音楽祭マスタークラスにてディプロマ受賞。国際コンクールの公式伴奏者、ソロ、室内楽、2台ピアノ等、様々なスタイルの演奏活動を展開している。母・久保田恵子との2台ピアノリサイタル(2009)は「ピアノデュオの一般的概念を超越する表現」(ムジカノーヴァ)と評され、ライブCD《ラ・ヴァルス》は音楽誌上にて高評を博す。2015年よりトランペット神代修・サクソフォン雲井雅人とのユニット「SAXOPET」にてピアニストをつとめる。第21回長江杯国際音楽コンクール(2018)にて優秀伴奏者賞を受賞。チェコ屈指のピアノトリオであるクーベリックトリオの薫陶を受け、多くの器楽奏者と共演する傍ら、論文『演奏における心と身体の間接性への考察～「インナーゲーム」理論を通して～』を執筆し指導法の研究にも取り組む。秋草学園短期大学客員講師、聖ヶ丘保育専門学校非常勤講師。フォーリーナ学園通り音楽教室講師。器楽コレペティートル協会会員。



Photo by Sho YAMADA

久保田美絵 Mie Kubota

夢カルテット 2026



Photo by Shigeto IMURA

Soprano Saxophone
菊地麻利絵



Alto Saxophone
田名部有子



Tenor Saxophone
二宮和弘



Photo by Sho YAMADA

Baritone Saxophone
齋藤 了